

漢方医学センター

■ スタッフ

センター長		高村 光幸
医師	常勤	1名
	非常勤	1名
薬剤師	併任	2名
鍼灸師	専任	1名

■ 特色・診療対象疾患

当診療科は、2022年4月より新規発足した漢方医学専門の診療教育センターです。2010年5月から2022年3月まで開設されていた漢方外来を担当した漢方専門医がセンター長となり、大学病院における適切な漢方医療の提供と研究、教育を目的として、新たに独立部門として発足しました。漢方薬は、薬局で処方箋なしで購入できるものもありますが、明治維新後ドイツ医学などが導入される以前には、千数百年の長きにわたって、漢方医学のみが正統な日本の医学でした。伝統医学としての漢方医学は、2001年3月に文部科学省から公表された「医学教育モデルコアカリキュラム」によって、再び正式に医師が学ぶべき項目に含まれましたが、漢方を専門的に扱える日本東洋医学会認定漢方専門医は、全国で2000人程度しか存在しません。その多くは、一般開業医などで、大学病院などの大病院で正式に漢方部門を担う人材はほんのわずかであり、また、大学病院に独立して漢方医学部門が設置されているところも非常に少数であります。三重大学病院は、漢方外来と同時に、鍼灸治療も2010年5月より取り入れ、伝統医学の知恵や効能を、現代医学との統合医療として実践してきました。

1. 当科の特色

- 全国の大学でもまだ少数の漢方専門部門が中心となって漢方専門治療を行っています。
- 漢方生薬認定薬剤師という資格をもった薬剤師が2名在籍し、カンファレンスなどで協議を重ねています。
- 専属の鍼灸師が在籍し、漢方湯液治療と鍼灸治療の両面から症状にアプローチすることが可能です。
- エキス剤のみならず、専門的な煎じ薬を保険診療内で提供しています。

2. 主な診療対象疾患

- 西洋医学的には異常がないといわれる、説明のできない症状など、東洋医学独自のフィルターにて体調不良をみています。特定の疾患名を挙げることは困難ですが、ありとあらゆる症状に対応できる可能性があります。
- センター長は小児科専門医でもあるため、赤ちゃんから老人まで、すべての年齢層の症状を対象としています。
- 鍼灸治療も、赤ちゃんには刺さない鍼治療を行うなど、全年齢層を対象として、様々な症状に対応いたします。

■ 活動実績

当診療科は、2022年4月発足ですが、センター長は2010年5月より継続して三重大学病院における漢方専門治療を一手に引き受けてきました。国内のみならず、国際学会でも漢方・鍼灸治療の学術発表を数多く発信してきました。また、学内外の医学生、研修医、またベテラン医師への教育事業も数多く行ってまいりました。

1. 治療実績

- 2022年4月～2023年3月における漢方部門の患者数：新患患者＝53名、再診患者延べ約1,500名、鍼灸部門の患者数：新患患者＝4名、再診患者延べ212名

2. 教育活動の実績

- 学部学生：中医学入門、小児科漢方、婦人科漢方、看護科薬理学講義
- 研修医向け講演会：2回
- 医師向け講演会：5回

3. 臨床研究等の実績

- 国際学会参加1回、国内学会参加3回
- 主な業績は独自HPに掲載

■ 今後の展望

当診療科は、鍼灸を含めた漢方医学の正しい普及と科学的検証によって全人的医療に貢献します。

▶ <https://www.hosp.mie-u.ac.jp/kampo/>